第３４回ＰＨＰ友の会全国大会・福島楽都郡山大会　大会報告

平成２７年１０月３・４日に開催いたしました「第３４回ＰＨＰ友の会全国大会・福島♪楽都♪郡山大会」について，３日の全国大会・記念パーティーと４日の分科会に分けて報告いたします。

この度は，遠路，福島県郡山市までお越しいただき，誠にありがとうございました。
当日は，北海道から沖縄，さらに韓国や台湾など海外から，併せて２５０名来場いただきました。

オープニングは，郡山東高等学校合唱部と大正琴のハープトーンズによる演奏。郡山市は，「東北のウィーン」と呼ばれているほど音楽が盛んで，中学や高校での合唱や合奏は全国大会で優秀な成績を残すほどです。今回の大会名である「福島♪楽都♪」の「楽都」は，文字どおり「音楽の都」から採ったものです。

相馬武実行委員長からの開会宣言により，大会がスタート。

「私たちの信条・五つのちかい」の唱和後，全国ＰＨＰ友の会の澤田勝利会長から挨拶をいただきました。

　また，本大会を祝して，品川萬里郡山市長に来場いただき，祝辞をいただきました。

全国ＰＨＰ友の会の最近の活動や方針などについて，全国ＰＨＰ友の会の大江弘常任顧問から報告がありました。

ＰＨＰ思いやり運動・愛の募金は，今回は県内の２団体（ＮＰＯ法人陽だまりハウス・原発災害情報センター）に贈呈されました。プレゼンテーターは真子定義副会長。

第１部　各ブロックの６代表による「私たちのＰＨＰ友の会活動」体験発表。

①南日本ブロック代表（ＰＨＰ那覇友の会　玉城　あきみさん）

発表テーマ　「素直な心になるための私の実践」

②西日本ブロック代表（京都ＰＨＰ誌読者の会　木村　博子さん）

発表テーマ　「ＰＨＰの仲間との出会い」

③中日本ブロック代表（ＰＨＰ四日市異見会三重　笠川　敏郎さん」
　　発表テーマ　「私のＰＨＰ友の会活動」

④東日本ブロック代表（千葉ＰＨＰほんとうの時代友の会　齋藤　茂子さん）
　　発表テーマ　「素直な心になる私の実践」

⑤北日本ブロック代表（札幌ＰＨＰフレッシュ友の会　溝田　光一さん）

発表テーマ　「ＰＨＰの仲間を増やすために取り組んでいること」

⑥海外（台湾ＰＨＰ素直友会　楊　豫揚さん）

発表テーマ　「ＰＨＰの仲間との出会い」

第２部

基調講演（フリーアナウンサー　大和田　新さん）

演題　「伝わることの大切さ、伝えることの素晴らしさ」

東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故の被害にあわれた数名の方とその家族や周辺の皆さんを取り上げて，福島県民にとって 3.11 は何であったかをわかり易く講演いただきました。特に，講演中何度も繰り返された「（今回の震災は）東日本大震災ではない，東日本津波原発事故大震災である」という言葉に，多くの参加者が共感されたのではないでしょうか。

東北エリア会員からの東日本大震災の体験発表

①日野　宏之さん（宮城県石巻市在住）

石巻市での震災体験とその後復興支援ボランティアについて発表がありました。

②国分　晶子さん（福島県双葉郡浪江町から避難）

原子力発電所事故による避難の状況を紙芝居で紹介しました。

パネルディスカッション

司　会　　村田純子さん（福島県南相馬市在住）

パネリスト　　大和田さん，日野さん，国分さん

ＰＨＰ研究所の清水　卓智社長からご挨拶いただきました。

次回の開催地であります名古屋大会の近藤邦彦実行委員長へ相馬武実行委員長から大会旗の引継ぎ。

ＰＨＰ友の会の歌「愛は友だち」の合唱によるフィナーレ
作曲された会員の斎藤　覚さんからご挨拶いただいた後，参加者全員で合唱。
参加いただきました皆様，お疲れ様でした。

（文責　添田　喜彦）